

カーボンニュートラルに向け て

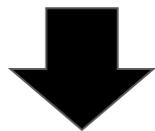
所沢北高校 田口宙

もくじ

- 1、環境に興味を持ったきっかけ
- 2、体験したこと
- 3、体験を通じて感じたこと、学んだこと
- 4、提言

環境に興味を持ったきっかけ

高校1年のときに実施されたカーボンニュートラルセミナー



所沢市のゼロカーボンシンポジウムへ参加

発表に向けて環境のことを調べたり、どんなことを提案すればよいか考えたりしたこと、他校の高校生の発表を聞いたことで、高校生にももう少しできることがあると気づいた

これまで行った活動例①

早稲田大学所沢キャンパスでのホタル鑑賞

概要...ホタルの生態についての講習を受けた後、森へ行きホタルを鑑賞する

実際に森に足を運ぶことで環境と命の関わりを実感することができた

これまで行った活動例②

カーボンニュートラルゲームへの参加

概要...参加者が企業や国、NPO等様々な立場のグループに分かれ、協力して「カーボンニュートラル」の状態を目指す。

- ・自分たちだけで動いても成果がなかなか現れない
→企業や市民が足並みを揃えて行動していく必要性
- ・自分たちの目標（経済面）と全体の目標（環境面）の両立が難しかった

これまでの体験から感じたこと

知識として頭に入ると

実際に体験することは大きく異なる



- ・ 遠くのことに見える問題が身近なものだったという気づき

- ・ 年齢も職も様々な人が参加している
 - 高校生には持てないような学びを得られる
 - 行動を起こす勇気が出る

これまでは...

心のなかで環境への責任を行政や企業に押し付けてしまう

行政や企業がもっと全力で取り組みれば解決へ進むのではないか

しかし

- ・ 行政や企業が動いても、
市民がその取り組みに協力しないと何の成果もでない
 - ・ 他の目標ややるべきことと、環境への取り組みを両立させなくてはならない
- 取り組みに応える人が少なかったら、環境に向き合う企業も減っていくのではないか

自分だけで行動を起こすことには勇気がいる

→個々の人が自発的でなくても、周りの人や企業の取り組みに協力していくことが重要



環境に向き合っていく人・行政・企業に同調できる社会

を目指して行動を！！

ご清聴ありがとうございました